イギリスの基本情報

本来、相矛盾するものと捉えられている「伝統と革新」「自由と規律」が、共存し融合している古き良き英国の社会・文化の特徴が、人々の生活の営みに、街角に、ロンドンの雑踏に、緑豊かな郊外に、、、あらゆる場所に表れている味わい深い国です。

正式名称: グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国
United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland

首都: ロンドン

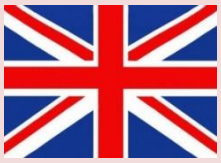
人口: 約5,942万人

面積: 約24万km²

人種・民族: イングランド人、その他

宗教: キリスト教、その他

言語: 英語、ウェールズ語



通貨: 英ポンド　£
為替レートは、£ 1.00 = ¥139.04 (2019年1月11日現在)
https://www.x-rates.com/historical/?from=GBP&amount=1&date=2019-01-11
レートはスーパーマーケット(Marks & Spencers)、ホテル、銀行、両替所の順に良くなります。

時差: マイナス９時間（イギリスが正午の時、日本は午後９時）

サマータイム: 4～10月はマイナス８時間（イギリスが正午の時、日本は午後８時）

日本からのフライト時間: 約 12 時間

電圧: 240ボルト 50ヘルツ

プラグ: 先が四角い三股のBFタイプ

水道水: 水道水は飲むことはできますが、硬水なので身体・口に合わない場合はミネラルウォーターを。
レストランや食堂では、ミネラルウォーターは有料です。
炭酸入りもあるので、記載に注意して購入・注文をしましょう。
500mlペットボトル1本が約60ペンスほどで駅の売店やコンビニで購入できます。

トイレ事情: 公衆トイレが有料で20ペンス位で街中にあります。その他、無料のトイレは危険なので使わないようにしましょう。スーパーやマクドナルドやスターバックスのトイレは無料で使えます。

持っていくと便利

電卓： 日本円に換算するといくらでしょう？ 1 台あればマーケットでの値段交渉がスムーズに、お買い物が楽しくなります。

衣装圧縮袋： お土産などがカバンに入らない時、かさばる衣類はこれで小さくまとめてスペースを確保できます。

常備薬： 気候の変化や旅の疲れから体調を崩すこともあります。薬は飲みなれているものを用意

雨具： イギリスは天候の変化が激しく予報はあてになりません。折り畳みの傘やカッパなど、雨具は準備しましょう。

クレジットカード： イギリスでは、ほとんどのお店でVISAやMasterのカードが使えます。極力、現金は持ち歩かないようにしましょう。暗証番号 PIN Number は、手帳などに記載するのではなく、頭の中に記憶しておきましょう。クレジットカードでのキャッシング機能については、事前にクレジットカード会社と契約しておきましょう。

イギリスの気候

イギリスの気候・服装

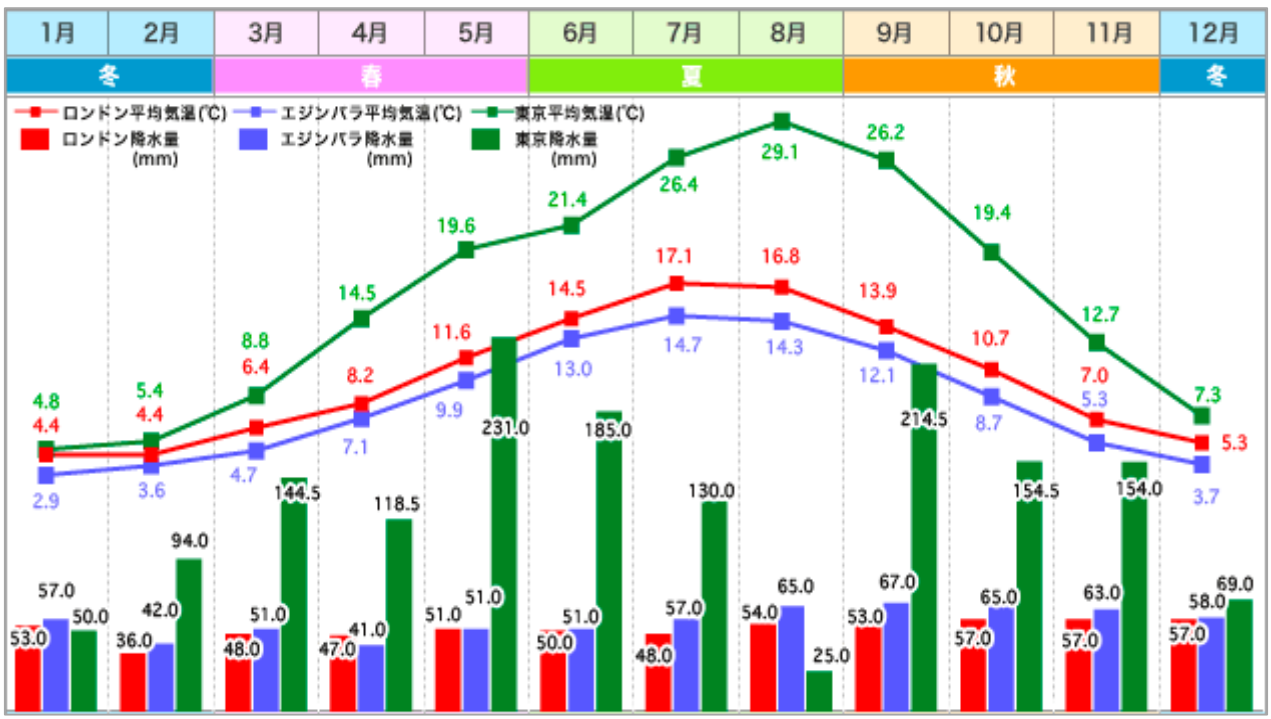
一年中霧のような雨が降るため、日本より肌寒く感じることが多いのがイギリス。

３月～５月
日中暖かい日でも朝晩は冷え込みます。一日の中でも天気が変わりやすく、晴天と思えば、突然激しい雨が降ることもあります。

6月～8月
30度近くになる日もありますが、湿度が低いためカラッとしています。日没後は急に肌寒くなることもあるので袖付きの上着を準備しましょう。

9月～11月
秋は曇りの日が多く、9月中旬を過ぎると朝晩はかなり冷え込むようになります。上着やセーターを用意して寒さに備えましょう。

12月～2月
冬は日照時間が短く、寒い日が続きます。霧が発生する回数が多く、霧が出た日は特に冷えこむので、使い捨てカイロが重宝します。



※ロンドンの平均気温は理科年表2009年版より、降水量は世界気象機関HPより（年不明）
※エジンバラの平均気温はWorld Climate HPより、降水量は世界気象機関HPより（年不明）
※東京の平均気温、降水量は気象庁HPより（2012年）

イギリスの交通手段やマナー

ロンドン市内の交通手段

ロンドンでは、地下鉄やバスで市内全域を移動できます。

■地下鉄 もっとも確実で手軽な移動手段。Tube(チューブ)と呼ばれ、市内をくまなく網羅しています。1日乗り放題のカードなどがあるので、2回以上乗るなら購入するとよいでしょう。

■バス バス停留所はRequestとBus Stopの2種類があり、Bus Stopは普通にバスが停まりますが、Requestでは手を上げないと停まらないので注意しましょう。

■タクシー ロンドンでは、Black cabと呼ばれている黒い車。基本的には手を上げて停車したら乗り込み、料金は降車して窓越しで支払います。乗る前に目的地までいくらぐらいの料金になるか確認しておきましょう。また、Black cab 以外のタクシーは危険なので乗らないように要注意！

■ダブルデッカー ロンドンの2階建てバスに乗るときは、事前に停留所付近の自動券売機で乗車券を購入します。券売機はお釣りが出ないので注意が必要です。

地下鉄は混雑しているので、貴重品の管理を！

イギリスのタクシーは自動開閉ドアではありません。

ロンドンのバス停では、礼儀正しく並びましょう！

イギリスでのマナー

エスカレーターでは左側を空けます。また体の接触に関しては、日本人より神経質なので混雑している場所でも他人と身体が触れたら「エクスキューズ・ミー」とひと言を。

■チップ サービス料の含まれていないレストランでは10%前後のサービス料金を追加しましょう。タクシーも通常は10%前後を加算。50ペンスと1ポンド硬貨は常に用意をしておきましょう。

■喫煙 スコットランドでは、公共の場での喫煙が禁止され、北アイルランドも追従の予定です。喫煙に比較的寛容なイングランドでも禁煙推進の流れに。公共の場では「NO　SMOKING」の表示に注意しましょう。

■写真撮影 イギリスでの写真撮影は、撮影禁止区域はもちろん、空港などでも注意が必要です。判断に迷ったら、必ず周囲の人に確認しましょう。人物を撮るときは、ひと言断ってからがマナー。

■服装もTPOを考えよう レストランで食事をしたり、劇場鑑賞の際にはドレスコードの確認や雰囲気に合った服装を心がけましょう。一流レストランであれば男性は上着にネクタイ、女性もセミフォーマルな洋服が望まれます。

レディーファーストを心がけましょう

レディーファーストのお国柄です。エレベーターを降りる時や、お店を出る時など、イギリスでは常に、女性を先に通すようにしましょう。

また、自分の後ろから続けて誰かが入ってくるときはドアが閉まらぬよう支え、後ろの人を待つマナーが定着しています。

イギリスのお金

イギリスのお金は硬貨が8種類、紙幣が４種類ある。
(1ポンド＝１００ペンス)

1.	1ペニー（銅貨） 1ペニー（ペンス）X100＝1ポンド 	2.	2ペンス(銅貨) 2 ペンスX50＝1ポンド
3.	5 ペンス（銀貨） 5ペンスX20＝1ポンド 	4.	10ペンス（銀貨） 10ペンスX10＝1ポンド
5.	20ペンス（銀貨） 20ペンスX5＝1ポンド 	6.	50ペンス（銀貨） 50ペンスX 2 ＝1ポンド
7.	1 ポンド （厚めで金色） 	8.	２ポンド （周囲が金色 中心は銀色で大型）
9.	5ポンド札 	10.	10 ポンド札
11.	20 ポンド札 	12.	50 ポンド札（ほとんど流通していない）